

新たな中学校給食の提供方式について

1 背景

現在、町田市の中学校給食は「選択制・ランチボックス形式」で提供しています。現行方式では、食中毒防止の観点から給食を一度冷やして提供しているため、生徒からは温かい給食を望む声が寄せられています。また、家庭環境が多様化するなかで、保護者からは全員給食を求める要望が寄せられています。

町田市では、これまで中学校給食の利用促進に取り組んできましたが、現行方式において温かい給食の要望に応えられていないこともあり、給食利用者を大きく増やすには至っていません。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、町田市の中学校給食においては、学校の運営状況に合わせた給食の提供や災害時に求められる柔軟な対応をとることが難しい状況であるという新たな課題も認識しています。

これらの課題を解決するため、2020年11月18日、「町田市学校給食問題協議会」に、新たな中学校給食の提供方式について諮問し、2021年1月20日、新たな中学校給食の提供方式として、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」が望ましいとの答申をいただきました。

2 町田市の新たな中学校給食提供方式の基本方針

「町田市学校給食問題協議会」の答申を踏まえ、次の考え方にに基づき、基本方針を定めます。

- ① 原則としてすべての生徒に温かい給食を提供する。
- ② 地産地消とさらなる食育を推進する。
- ③ 安全な方法で食物アレルギーに対応する。
- ④ 新たな課題である非常時・災害時における柔軟な対応を可能とする。
- ⑤ 早期実施の実現性が高い提供方式を導入する。

【基本方針】

1 全員給食・食缶形式・給食センター方式の導入

成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供を早期に実現します。

2 給食センターを災害対応や地域貢献に活用

炊き出し・備蓄などの災害対応や、地域に食の提供を行うなどの地域貢献を可能とする機能を備えます。

3 給食センターを市内に分散化して整備

配送可能範囲や地域貢献を考慮し、市内3箇所分散して整備します。

◆ 現行方式と新たな提供方式の比較

基本方針	現行方式	新たな提供方式
【1】 全員給食・食缶形式 ・給食センター方式の導入	給食を選択した生徒に、一度冷やしたランチボックス形式の給食を、市外の民間調理施設から配送	全生徒に、食缶形式の温かい給食を、市内の給食センターから配送
【2】 給食センターを 災害対応や地域貢献に活用	市外の民間調理施設のため、災害対応や食の提供等の地域貢献は難しい	市内の給食センターのため、災害対応や地域への食の提供等の地域貢献が可能
【3】 給食センターを 市内に分散化して整備	市外2箇所の民間調理施設のため、配送に時間がかかる。また地域貢献に寄与できない。	市内3箇所に給食センターが分散しているため、短時間で配送が可能。また地域貢献にも寄与できる。

3 今後のスケジュール

- (1) 教育委員会承認後、市としての方針決定を行います。
- (2) 2021年度末までに「(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画」を策定し、できる限り早期の給食センター整備を目指します。

【基本計画の項目(案)】

- 基本性能・機能
- 施設運営手法
- 建設規模
- 建設地
- 財政計画
- スケジュール など